



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和3年6月1日 第3号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

学校ホームページ
<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック
<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



できない理由を探すのではなく

校長 小野満 賢



つい先日、生徒全員との面接が終わりました。毎年この時期に、昼休みの時間を使って一人ずつ話をしています。面接と言っても堅苦しいものではなく、普段の生活の様子や、今、夢中になっていること、将来の夢などをざっくばらんに聞いています。初めのうちは校長室のソファの座り心地に慣れない様子でも、話していくうちに表情が穏やかになり、それぞれの近況や思いを素直に教えてくれます。きょうだいの関係や飼っているペットのこと、休みの日の過ごし方、面白いゲームや読んでいる本、習い事のダンスやフラのことなど、学校以外の話に広がっていくので、私自身も生徒のことを知る貴重な時間として大切にしていますし、大いに楽しませてもらっています。

将来の夢については、これからじっくり考えるという生徒もいますが、既に具体的に描けている生徒もいます。学年が進行していくにつれ、自身の適性や興味を見つめ直し、昨年、一昨年とは将来像が変化している生徒もいます。小笠原に住む大人の一人としては、この島を出て内地や世界でその道のプロになって活躍したいという生徒に大きな期待と頼もしさを感じますし、いずれこの島に戻ってきて村のために働きたいという生徒も少なからずいるということに喜びと安堵の気持ちもあります。コロナ禍でテレワークが進み、地方回帰の気運が少しずつ高まってきてはいますが、過疎化に歯止めが効かない地方も多い中、若い世代が戻ってきたいと感じる「ふるさと小笠原」はやはり魅力的なのだと感じています。

さて、夢を実現する方法は一通りではありませんが、どのルートを辿ったとしても間違いなく多くの困難が立ちまわります。思い通り、順風満帆に夢が叶うことはほとんど無いと言っていいでしょう。まずはその夢をもち続けられるのが重要です。チャンスがあっても、必ずしもものにできるとは限りません。数々の試験やオーディション、試合や審査等の大一番で結果が求められます。結果が伴わない場面が続くと、そもそも自分に向いているのか、才能が無いのではないかと不安になったりもします。スランプや故障もあるかもしれません。そういう幾多の困難が目の前に立ちまわっても、自分を信じ、歯を食いしばって乗り越えていこうとする力を付けて欲しいのです。仮にその夢が叶わなくても、全てを懸けて一生懸命に努力した経験そのものが今後の人生の大きな財産になっていくのだと思います。

乗り越えようとする力は、努力をして乗り越えた時の達成感や成就感でより一層強まります。しかし人間は弱いもので、普段の生活の中でも、今まで出会ったことの無い困難や局面に遭遇すると、それに立ち向かう前に、またはちょっと跳ね返されただけで、できない理由を探しがちです。「無理ですよ。だって、」に続けて、例えば、時間がないから、お金がないから、実力がないから、やったことがないから、やってもできないから等々の理由です。この島に住んでいると、1000キロも離れた離島だから、船が週に一度しか来ないから、塾がないからといった理由も挙げてしまいそうです。できない理由を探すのはきっと簡単です。それに向かって挑戦しない自分、諦めてしまう自分を正当化するために言い訳をしているに過ぎないのですが、これではいつまで経っても自分の殻を破ることはできませんし、視野が広がらず、できることしかやらない人になってしまいます。

今の状況で「どうやったらできるのか」を考えることの方が、できない理由を探すより、エネルギーの費やし方としてはずっと有意義なのではないでしょうか。可能性がゼロでない限り、必ず解決策はあるでしょうし、このやり方なら何とかできるのでは、と思える方法を考えるのは意外と楽しいことです。そしてまた、決して一人で困難を突破しなさいとは言いません。周りにいる多くの人に相談し、様々な方法を一緒に考え、時に支え合いながら、粘り強く試行錯誤していくことが大事なのだと思います。

夢の実現の話に戻りますが、アメリカ大リーグのエンジェルスで大活躍中の大谷翔平選手も、高校生の時に、自分の目標達成のために自分が具体的にすべきことを「マンダラチャート」と呼ばれる表に書き込み、実践していたことは有名な話です。小笠原中の仲間の中にも、プロの選手を目指して毎日7キロのロードワークと1時間のストレッチを自身に課している生徒もいます。将来の受験に備えて毎日2時間の学習時間を確保し

ている生徒もいます。中学卒業後の自分の身の振り方について家族に相談し、様々な学校の情報を集めている生徒もいます。さて、みなさんは夢の実現に向けて具体的に何をしますか？

9月公開の映画「浜の朝日の嘘つきどもと」の予告編が目飛び込んできました。福島県の南相馬市にある、経営が傾きかけた映画館「朝日座」を再建するために、高畑充希さん演じる浜野あさひが奔走します。再建を諦めた映画館の支配人が憔悴した顔であさひに言います。「震災も何とか耐えたんだけど、コロナでとどめだ。映画じゃ人を救えねえ。・・・もう終わったんだよ。」これにあさひが返した言葉が痛快です。「バカヤロー！まだ始まっちゃいねーよ！」東日本大震災という大変な状況を何とか乗り越えてきた東北の人々に、追い打ちをかけるコロナ禍。言葉は極めて乱暴ですが、「ここで負けてなるものか！」という強いメッセージが込められています。

自分の夢の実現に向けて、困難にぶちあたって諦めかけそうになったとき、このセリフを自分自身に言ってみるのはどうでしょう。「バカヤロー！まだ始まっちゃいねーよ！」

部活動の紹介

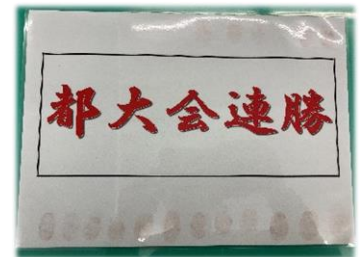
サッカー部

顧問 麻生 直人・高田 奈々

サッカー部は1年生3人、2年生6人、3年生8人の計17人で、「都大会連勝」という小笠原史上未だかつてない結果を求めて、日々厳しくかつ楽しく部活動に励んでいます。サッカーに対して真摯に向き合うことはもちろんのこと、普段の学校生活などの生活態度においても他の模範となるような行動を心がけています。

また、母島中学校サッカー部とも連携を図り、定期的に母島から部活動に参加してもらいながらお互いに切磋琢磨することができています。

保護者・地域の皆様には、日頃よりサッカー部の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。ぜひ普段の練習や試合で、部員たちが励んでいる姿をいつでも観に来ていただきたいと思います。きっと、子供たちの直向きな姿から、元気をもらえるはずです。今後もよろしくお願ひいたします。



野球部

顧問 矢代 祥大・宮本 寛信

野球部は現在3年生1人、2年生2人、1年生2人の5人で活動を行っています。放課後の活動時間にグラウンドで大きな声を出し、一生懸命練習しています。部員が9人そろわず、実戦的な練習がなかなかできませんが、バッティングや守備練習、トレーニングなどの基礎練習を中心に、より自身を上達させるべく活動に励んでいます。

バレーボール部

顧問 小林 政輝・高部 みなみ

バレーボール部は現在、1年生11人、2年生7人、3年生1人の計19人で活動しています。今年は1年生が多く加入し、昨年度より活気にあふれた部活動となりました。

チームのスローガンは、「全力排球」です。どんなときも全力でボールを追いかけ、自分たちのバレーボールをしようという意味が込められています。7月に予定されている島しょ大会優勝に向けて、「団結力を高める」「声を出す」「ボールを落とさない」を意識して練習を行っています。部活動を通して、心身ともに大きく成長できるように、今後も全力で取り組んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様、日頃からご理解とご協力をいただきありがとうございます。今後ともご支援をよろしくお願ひいたします。



バドミントン部

顧問 野内 由紀子・佐々木 若葉

バドミントン部は3年生3名、2年生8名の計11名で活動しています。「一羽闘魂」「切磋琢磨」をスローガンに、互いに高め合いながらトレーニングに励んでいます。先日行われた島しょ大会(Fブロック大会)以降、部員の意識がより一層高まり、3年生を中心として厳しい練習にも一生懸命取り組んでいます。現在、シングルスとダブルスに分かれ、7月に予定されている都大会に向けて練習しています。地域・保護者の皆様にはいつも温かい応援をいただきありがとうございます。今後とも小笠原中バドミントン部へのご声援をよろしくお願ひいたします。



硬式テニス部

顧問 山浦 康志・野田 さくら

硬式テニス部は練習等を通じ、硬式テニスの技術の向上を目指すとともに、心身共に鍛えられた豊かな人間性を培うことを目標に日々取り組んでいます。今年度は新入生5人を新たに迎え、2年生3人、3年生5人と総勢13人となり、賑やかになりました。

昨年度は、内地での新人大会、村のテニスの大会が開催されませんでした。硬式テニス部は2年生の夏の新人戦が最後の遠征になります。今年こそ開催されることを信じて、1・2年生は技術の向上を目指し、3年生は技術に加え後輩の支援も行い、部員全員で一生懸命、そして楽しく練習しています。

科学部

顧問 高橋 郁美

科学部では授業では行えない一風変わった実験をしたり、畑を一から作り、作物を育てたりしています。作物を育てることは、時間と労力がかかります。普段食べている植物が生長する姿を継続的に観察したり、水をあげたり雑草を抜いたりして管理します。また、今まで食べていた植物がどのようにできるのか知ることができたり、大きくなった植物を収穫して味わったりする活動を通して、様々な知識や技能を習得していきます。実際に作物を育てるのは容易ではありません。なかなか発芽しなかったり、発芽しても鳥やネズミ等に食べられてしまったりすることも多々あります。今年度はまだ育てたことがないものにもチャレンジしていきます。



音楽部

顧問 佐々木 若葉

毎週木曜日、音楽室にて3年生1名、2年生3名の計4名で活動しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により吹奏楽器を使えない期間もありましたが、キーボードやドラム、コントラバスなどにも挑戦して様々な音楽を楽しんでいます。活動の制限はあったものの、その分、学校にある楽器は何でもやってみて、どんどん演奏の幅を広げることができました。今年はその成果も発揮できそうなので楽しみです。授業で練習している曲以外にも、よく知っているポップス曲をアレンジしながら和気あいあいと活動しています。

美術部

顧問 湯本 美樹

美術部は、3年生1人、2年生6人、1年生1人で活動しています。絵を描いたり、木を彫ったりすることはもちろん、写真を撮ったりと授業ではできないようなことに取り組んだりもしました。制作中は、和気あいあいと互いの作品を見合ったり、集中が高まって静かな中で鉛筆の音が響くだけの時があったりと、それぞれが自分の作品に向き合っています。ものづくりの楽しさをみんなで味わい、自己表現を追究し、生活を彩る豊かさを体験していこうという部活動です。

バドミントン部 島しょ大会

顧問 野内 由紀子・佐々木 若葉

5月3日(月)に、本校体育館にてバドミントン部Fブロック大会(小笠原会場)が行われました。今年度は緊急事態宣言を受けて開催が危ぶまれる中、島しょ地区の参加校のうち半数以上が試合日に島外へ出られなくなるという事態となりました。このため、当該地域の教育委員会や管理職の先生方、顧問の先生方のご配慮により、これまでとは形態を変えて、11の島を3会場に分け、出場枠を選手数により振り分ける形で開催にこぎ着けることができました。当日は母島中学校バドミントン部と小笠原中学校バドミントン部による男女シングルス、男女ダブルスの試合を行い、男女シングルス各1名、男女ダブルス各2ペアの計10名が都大会出場を決めました。昨年度は大会が中止となり今回が初めての出場となった3年生と、初の公式戦となった2年生は、緊張の面持ちで試合に臨みました。「小笠原中」のゼッケンを初めて付けて挑んだ背中はいつよりも大きく見え、これまでとは違う空気と集中力を感じました。7月3日(土)の都大会出場は、6月末の出港から帰着まで約2週間の長旅となります。更なる飛躍を遂げ、もう一回り大きくなって帰ってこられるよう、精一杯の準備をしていきたいと思えます。



第2学年 夜明山戦跡調査

第2学年担当 佐々木 若葉

5月14日（金）、第2学年は総合的な学習の時間の取組で、夜明山戦跡調査を行いました。前日の13日（木）にはゲストティーチャーの田中 善八 様（板長さん）をお迎えして事前学習を行い、実際に使われていた武器や日用品などの収集された遺留品を見せていただきながら、戦争当時のことや父島の戦跡についてお話を伺いました。14日（金）の夜明山訪問時は、最初に立ち寄った旭平展望台などの普段何気なく通る場所にも戦跡があることを知り、戦時中の生活を身近に感じ取ることができました。山に入ると当時の兵隊さんが生活していた跡があちこちにあり、生徒たちは板長さんのお話にじっくり耳を傾けていました。事後学習では、学んだことや感じ取ったことを川柳にして表現しました。高角砲から見上げた美しい空と海の景色に、戦時中と現在の時の移り変わりへの思いを一層強くしました。ワークシートには、現在の生活がどれだけ貴重で平和なものであるかを記述している生徒が多くいました。今回の学習を2学期の硫黄島訪島学習に広げ、平和学習を進めていきます。



PTA ノロ落とし

5月30日（日）にPTAノロ落としを予定どおり実施することができました。小笠原小学校の5・6年生、小笠原中学校の1～3年生、保護者・地域の方々、教職員が共に汗を流し、作業終了後には早速海に飛び込む元気な子どもたちの歓声が青灯台付近に響き渡りました。今年度も青灯台付近での遊泳のために、ご尽力いただきました関係機関のみなさまに厚く御礼申し上げます。



6月の行事予定

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1日（火）安全指導 自転車安全点検 | 21日（月）SC勤務 |
| 2日（水）芝生の日 小中連携の日 | 23日（水）期末考査（1日目）理・英・音 |
| 3日（木）水泳指導始 | 24日（木）期末考査（2日目）国・技家・美 |
| 7日（月）テスト計画 | SC勤務 いじめ対策学校サポートチーム第1回協議会 |
| 10日（木）東平外来種駆除活動事前学習（1年） | 25日（金）期末考査（3日目）社・数・保体 |
| SC勤務 | 第1回連合運動会合同職員会議 |
| 11日（金）東平外来種駆除活動（1年） | 26日（土）開校記念日 |
| 12日（土）数学検定 | 27日（日）英語検定二次 |
| 14日（月）学校朝礼 SC勤務 | 28日（月）学校朝礼 SC勤務 役会・学会 |
| 15日（火）食育講話 避難訓練 | 29日（火）遠泳海練習（5・6校時） |
| 16日（水）芝生の日 部活動停止（24日まで） | 30日（水）遠泳海練習（5・6校時） |
| 職員会議 | 体力テスト終 |
| 17日（木）SC勤務 | |
| 18日（金）お弁当の日 | |
| 全国経年変化分析調査（3年） | |
| 東平外来種駆除活動予備日（1年） | |
| 20日（日）漢字検定 | |